



ひとひと
男と女がお互いに
人権を尊重し

共に語りあい
共に認めあい
共に支えあう

No. 4

2012年
3月23日発行

発行 さばえ男女共同参画ネットワーク

ぱーとなー

市民主役で大盛況！



向き合って、認め合おう、語り合おう

平成二十三年十二月十一日(日)

「女と男輝くさばえフェスタ2011」が響陽会館で開催されました。今年度は、「市民主役事業」としての初めての大会になり、男女共同参画社会の実現に向けての発表がありました。

講演では、作家の家田莊子氏をお迎えし、人のかかわり、大切さを痛感する一日になりました。



女と男輝くさばえフェスタ 2011

- ★オープニング
フルートと和太鼓の競演
kana/月岡路子
- ★式典
「しあわせ伝言コンクール」表彰
男女共同参画地域推進委員会発表
さばえ男女共同参画ネットワーク
朗読劇：ある日の風景
- ★講演「一緒に、生きて行く」
あなたの愛を求めています
講師：家田 莊子氏（作家）



フルートと太鼓が
すばらしかった。

講演を聞いて反省する
ことが多いです

クイズもおもしろかった。



「であい汁」が
おいしかった！

地域でも
がんばりたい。

大盛況で、楽しい
一日でした。



フェスタ実行委員会
熊合 勇

暮れの忙しい時期に開催することで心配もありましたが、たくさんのご参加をいただき、主催者を代表しまして感謝申し上げます。
「市民主役事業」の中で時間に追われ焦りもありましたが、理事各位及び関係者の熱意に助けられました。
今回のテーマは「向き合って、認め合おう、語り合おう」でした。
自分の主張を通し、人の意見に耳を傾けない昨今、東日本大震災のような未曾有の災害を見て初めて分かる人と人のつながり大切さを考えた人は多いのではないのでしょうか。
私たちも、フェスタを通して男女のかかわり、思いやりを今一度考えていただければ幸いだと思います。
今後とも、男女共同参画の推進にあたり市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。
また、若い方にも率先してご参加いただくようお願い申し上げます。

新たな地域づくりを

市民の力で

鯖江市長 牧野 百男



市では現在、自分たちの町は自分たちでつくるという『市民主役』の町づくりを進めております。その一つの施策として民間と行政の役割を見直す「提案型市民主役事業」とし実施しております。今回のフェスタにおいても市民主役の事業の中、行政ではできない発想で多くのご参集をたまり感謝申し上げます。

鯖江市では平成十三年に「鯖江市男女共同参画プラン」を策定し、平成十五年には「推進条例」平成十八年には「第二次参画プラン」に名称を改め、平成二十年には「男女共同都市」を宣言するなど積極的に取り組んでまいりました。

こうした中、市民のライフスタイルや雇用形態、特に女性を取り巻く環境が急激に変化してまいりました。このためより計画の実施性を高めるために、平成二十二年には「第三次の参画プラン」を策定し一層の推進を図ることにしました。市民が市政に主体的な参加をはたすためには、男女が尊重しあい、共同して社会を支えていくことが重要であります。

最後に、男女がお互いに思いやり、協力し合うことにより、健康で安心して生き生きと暮らしのできる、豊かで活力のあるふるさとづくりを推進してまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



認め合おう、語り合おう

合同研修会

「地域コミュニティの再生は
男女共同参画から」

研修委員会 委員長：福岡 幹子

7/16(土)

今年度の研修会はネットワークと地域推進委員との合同研修会になりました。

講師には、福井市男女共同参画ネットワーク会長高田訓子氏にお願いいたしました。行政担当の経験もあり、課題とするいろんな視点から提案がありました。



歴史背景、国の方向性、行政の組織整備、学びからの実践、また、会員の意識調査など今に至った経験を話されました。情熱溢れるお話の最後に、男女共同参画の推進は、地域の力、行政との協働なくしては達成できないと締めくくられました。

視察研修

「KYOのあけぼのフェスティバル」

11/23(水)

市民主役での初めてのフェスタに向け参考になればと「KYOのあけぼのフェスティバル」に参加しました。オープニングから式典の流れなどこまめにチェックし、よいと思ふところを取り入れたいと考えました。

その後「震災後日本の針路と男女共同参画」と題し、講師：藻谷浩介氏の講演を受けました。経済と男女共同がどのように結びつくか興味がありました。分かります、とても参考になるヒントを得ました。

今回の視察研修も、ネットワークと地域推進委員との合同で行い、お互いの連携と親睦にもつながりました。



「世代間における男女共同参画」

地域推進委員長：藤田 久子

今年度の地域推進委員は、地区、団体推薦など二十九名が委嘱されました。

四部会の活動を通じて、家庭、地域、職場での男女共同参画の理解を深めていただきました。

年代別にはまだまだ偏りがありますが、問題提起しながら意見を出せる機会が必要ではないでしょうか。

また、市民主役の中でネットワークへの参加もでき、広い範囲での交流もできました。今後とも地域推進活動のご理解ご支援ご協力をお願いするとともに、今年度、皆様のおかげで無事終えたことに感謝申し上げます。

「歴史でつながるおもしろ話」

10/15(土)

中部部会長：長谷川 早苗
中部部会は、鯖江、神明、新横江地区で構成されています。

今回は、萩寺で有名な瑞源寺住職：花房禅祐氏にお願いいたしました。事前に見学もさせていただき文化財、歴史遺産などのお話も聞かせていただきました。福井藩との関わり、また、吉江藩家臣の中に近松門左衛門の父がおられたことなどつながりのおもしろい話でした。

マツチ棒ゲームや、ワークシヨップでいろんな話もでき楽しいひと時を過ごしました。

また、手作りのちらし寿司も大好評で皆さんも喜んでくださいました。



「あなたのハートつかんじゃ」

11/12(土)

全域団体部会長：高田 健一郎

全域団体部会は、市内の諸団体が構成されています。今回は「婚活」に挑戦しました。料理とマナーを学びながら出あいのきっかけづくりにもつながると企画しました。開催前は人が集まるか不案もありましたが、当日は大盛況で第二弾も



ネットワークの更なる構築を

さばえ男女共同参画ネットワーク

会長 高屋 勝一

皆さまには常日頃より、職場、地域、家庭において男女共同参画社会の実現を目指して、精力的な活動をしていただき心より御礼申し上げます。

今年度は特に、鯖江市としてもますますおられます「市民主役事業」として男女共同参画関係事業を夢みらいWeが受け活動してまいりました。

私たちネットワーク、及び地域推進委員が連携を取り、夢みらい館・さばえを拠点化し、いかに盛り上げ鯖江市の男女共同参画社会の実現に寄与できるかを考えてまいりました。

その集大成が「女と男輝くさばえフェスタ」でした。お蔭さまでたくさんのご参加をいただき感謝申し上げます。鯖江市での男女共同参画が少なからず進んでいる証ではないかと感じているところであります。



今後とも、団体の連携、また団体同士のネットワークづくりを構築し、住みよい町づくりにも寄与できるようにがんばりたいと思いますので、ご理解ご支援をお願い申し上げます。

向き合って、

女と男共生塾

講座委員会 委員長：森田 雅子

「防災時の対応」～女性の果たす役割～

7/9(土)



六月には「防災時の対応」と題し、東日大震災の救援隊として、鯖江市から派遣された消防士と保健師の二人にご講演いただきました。生きのびるためにどうすればよいか、自分自身、家族、地域の人がどう対応すればよいか、備えの重要性なども話されました。また、健康面などの注意も受け、すごく勉強になりました。

「もしも、あなたの家族が倒れたら」

10/29(土)

十月には「もしも、あなたの家族が倒れたら」と題し、介護の経験からグループホームを立ち上げた、坂井政明氏にご講演いただきました。

家族の対応、役割などユーモアを交えて話されました。また、自分の時間を持つ大切さも教えていただき、他人事ではない実感を得ました。

「毎日 かあさん」シネマトーク

3/10(土)

三月には、実生活でも夫婦だった、小泉今日子と永瀬正敏主演による家庭問題をテーマに描いた映画を上映し、その後茶話会でいろんな感想を話し合いました。

全体を通して、とてもよい講座なのでもう少し男性の参加があるとよいと感じました。

パネルでの統一感

啓発委員会 委員長：畑中 雅博

今年度の柱は①パネルの作成②朗読劇で啓発することでした。特にパネルは統一スタイルにすることでネットワーク全体の統一感が醸しだされ強調された啓発につながったと感じます。

フェスタにおけるクイズラリーでも今まで以上の参加者を得ました。また、朗読劇では行政担当者も参加していただき、協働の姿を見せる事ができ満足でした。

してほしいとの声も聞けました。今一番必要とされてる、人の交流、出会いを演出できたと思います。

「日頃のうつぶん、串に刺しちゃえ」

11/13(日)



東部部会は、中河、片上、北中山、河和田地区で構成されています。

毎回、簡単な食べ物づくりをしながら和気あいあいと参加していただいています。今回は、おだんごづくりにも男性も挑戦していただきました。いろんな大きさになったりしてむずかしさを感じたようです。

その後、島根県からお借りした男女共同参画おもしろカルタ大会を行い、童心に返り楽しいひと時を過ごしました。平均年齢がどうしても高いので若い人にも積極的に声をかけていきたいと感じました。

「幸せである備えを」

11/13(日)

西部部会長：川地 信夫
西部部会は、吉川、豊、立待地区で構成されています。

今回は、杉本町報恩寺住職：林暁氏にご講演をお願いいたしました。東日本大震災のボランティアに参加され現地での写真や声を聞くことができました。人の温かみ、つながりの大切さを今更のように感じました。

その後ケーキづくりに挑戦していただき、それを食べながらワークショップの中で地域、家庭でのいろんな話を交えていただき男女の役割を認識しました。



「新春おもしろ△寄席」

2/12(日)

地域推進委員の研修会を兼ねて落語会と茶話会を開催しました。お笑いの中にもたくさんヒントが隠されていて楽しいひと時でした。その後も貴重な意見が出されました。

平成23年度さばえ男女性共同参画ネットワーク名簿

	団体名	代表者名
会長	鯖江市男女共同参画地域推進委員会	高屋 勝一
副会長	一般会員	熊谷 勇
副会長	鯖江市男女共同参画地域推進委員会	齋藤 啓子
会計	夢みらいWe	栗山 祐子
事務局	鯖江市男女共同参画地域推進委員会	養輪 喜通
理事	鯖江市連合婦人会	山形 悦子
	鯖江市農村主婦会議	窪田 ひろ子
	JA たんなん女性部	福岡 洋子
	鯖江地域ファミリーサービスクラブ	森田 雅子
	夢みらい館・さばえ利用者連絡協議会	福岡 幹子
	鯖江市地域活動連絡協議会	足立 里美
	退職公務員連盟鯖江支部	竹澤 英世
	鯖江市母子寡婦福祉連合会	養輪 美幸
	鯖江市くらしをよくする会	天谷 貴代美
	福井県民生活協同組合第2地区本部	辻本 理子
	鯖江市赤十字奉仕団	酒井 末子
	ソフィアさばえ	三田村 美子
	鯖江市愛育会	水嶋 栄子
	鯖江市婦人福祉協議会	湧口 洋子
	鯖江市食生活改善推進委員会	平井 照子
	鯖江市やんしき保存協会	牧田 清昭
	鯖江市老人クラブ連合会	藤本 澄子
	鯖江市区長会連合会	岡田 利栄
	鯖江市民生委員児童委員協議会連合会	斎藤 直雄
	鯖江市壮年グループ連絡協議会	山本 恵司
	鯖江市人権擁護委員	西野 壽富子
	(特) さばえNPOサポート	高野 智仙
	鯖江市PTA連合会	二木 佐緒里
	(特) エコプラザさばえ	畑中 雅博
顧問		牧野 陽一
監査委員		茨田 隆信
監査委員		下村 保子

平成23年度ネットワーク活動

月日	事業内容	開催場所
5月14日(土)	第3回さばえ男女共同参画ネットワーク総会	夢みらい館・さばえ
6月11日(土)	ふくいきらめきフェスティバル2011	ユウ・アイふくい
7月9日(土)	女と男共生塾 演題「防災時の対応」 講師：鯖・丹消防組合 北村 大樹氏 ~女性の果たす 鯖江市役所 松田 千津子氏 役割~	夢みらい館・さばえ
7月16日(土)	合同研修会 演題「地域コミュニティーの再生は、男女共同参画で」 講師：福井市男女共同参画ネットワーク会長 高田 訓子氏	郷陽会館
8月21日(日)	ふくいきらめきフェスティバル2011 南越前町大会	南越前町文化会館
10月29日(土)	女と男共生塾 演題「もしもあなたの家族が倒れたら」 講師：グループホームつくし代表 坂井 政明氏	夢みらい館・さばえ
11月23日(水祝)	「KYOのあけぼのフェスティバル」視察、研修	京都テルサ
11月28日(月)	熊本県大津町町会議員との研修会	夢みらい館・さばえ
12月7日(水)	鯖江地区男女共同参画研修会 (鯖福井村田製作所)	村田製作所宮崎工場
12月11日(日)	女と男輝くさばえフェスタ2011 演題「一緒に、生きて行こう」~あなたの愛を求めています~ 講師：作家 家田 荘子氏	郷陽会館
3月10日(土)	女と男共生塾・シネマトーク	夢みらい館・さばえ

平成23年度地域推進委員会活動

月日	事業内容	開催場所
5月11日(水)	鯖江市男女共同参画地域推進委員委嘱式	夢みらい館・さばえ
10月15日(土)	地域推進委員会中部部会事業 演題「歴史でつながるおもしろ話」 講師：瑞源寺住職 花房 禅佑氏~ワークショップ	夢みらい館・さばえ
11月12日(土)	地域推進委員会全域団体部会事業 「あなたのハートつかんじょう」 講師：上田佳代子・みのわよしみち	夢みらい館・さばえ
11月13日(日)	地域推進委員会東部部会事業 「日頃のうっぱん、串に刺しちゃえ」	北中山公民館
11月13日(日)	地域推進委員会西部部会 演題「幸せである備えを」講師：報恩寺住職 林 暁氏	吉川公民館
2月12日(日)	研修会：新春おもしろ△寄席 演題「今日も開店パン屋さん」 講演：はやおき亭貞九郎氏~ワークショップ	夢みらい館・さばえ

『しあわせ伝言コンクール』受賞者作品

- ★最優秀賞
 - ・帰る家がある 家族がいる 学校で勉強ができる
 - ・そっぴう ぶつうの生活に 感謝です 林 朱音
 - ・家族の大切さ 気付いた時 その人はもういない
 - ・今 生かされている私の 命に感謝です 米谷 勝
 - ・災害がすべてを変えた生活 それでも失わなかった
 - ・助け合いだから がんばれる 佐々木 星良
 - ・大丈夫だよ！一人ではやまないで 私が君の味方だから
 - ・辛いときは 声をだしてね 吉田 太紀
 - ・年齢を重ねることに あなたのやさしさがみえてくるって
 - ・ふしぎ 心の眼が開くのでしょうか 栗山 祐子
 - ・でこぼこ人生(みち) 愚痴もこぼさずついて来た笑顔の
 - ・お婆へそっと 手を合わせ、お八十 松村 良起
 - ・そばがおいしい いつも空気のよくなんだけど そっと
 - ・守ってくれる そんな人の そばがおいしい 養輪 亮子
 - ・みんなが元気でわらっていられること それが一番の
 - ・しあわせだと わかった 3月11日 山崎 拓海
 - ・家族へ 知らない所で ぼくは守られている いつか みんなを
 - ・守ってあげられる 存在になりたい 助田 享汰朗
 - ・「いつからっしょい」「おかえり」毎日 同じこえて返って
 - くる あたりまえが一番いい 岡 辰之輔
 - ・お父さんは 何もしてくれないけど
 - ・そばにいてくれるだけで安心するよ 中尾 珠希
 - ・学校のプロジェクトで 徹夜したりしたけど 完成した
 - ・喜びと チームの絆は 忘れない 大平 晶恵
 - ・いいよ！そのままがいいよ！大丈夫！つながりを感じる
 - みんなの言葉 ありがとう 前田 正味
 - ・あいさつが人と人のつながりだと思っ なぜなら
 - ・あいさつから なんでも始まるから 相馬 七緒
 - ・わたしは 学校の帰り道の中で 地いきの人に「おかえり」と
 - ・言われて うれしかったです 山本 倫
 - ・名前がかわっても 離れて住んでいても つながっている
 - ものなんだよね 家族って 徳山 英真
 - ・君はもう見えない世界に行っただけど 私の心の中には
 - ・君がニコニコ 笑ってるよ 木下 結菜
 - ・みんなで輪になり 手と手をつないで みんなのぬくもり
 - ・かんじよう ふあながきつとなくなる 福岡 友奈
 - ・手をつなごう！笑おう！一緒に話そう！
 - ・友達と絆がふえるよ 清水 隆史
 - ・何事にも「気を付けてね！」の我女房 定年過ぎたら
 - ・その言葉 ひしと感じる 今日の日々 熊谷 勇
- ★優秀賞
 - ★パートナー賞
 - ★ファミリー賞
- ★優秀賞
 - ★丹南FM放送 青空賞



夢みらい館・さばえフェスタ 2/26(日)

「夢みらい館・さばえフェスタ」女と男しなやかな「絆」が開催されました。利用者の方々の発表、午後からは、演題「世代を越えて伝えていくもの」講師：酒生耀子氏のご講演があり男女共同参画の基本を学びました。その後、ワークショップでいろいろな話し合いがもたれました。



編集後記

今年度は「提案型市民主役事業」として「絆」をテーマに、女と男の人権を尊重した活動をしてみました。男女共同参画社会実現に向けてもっと幅広い世代に浸透できるように、地域から事業展開していく必要もあると感じました。

広報委員会

委員長：二木佐緒里